

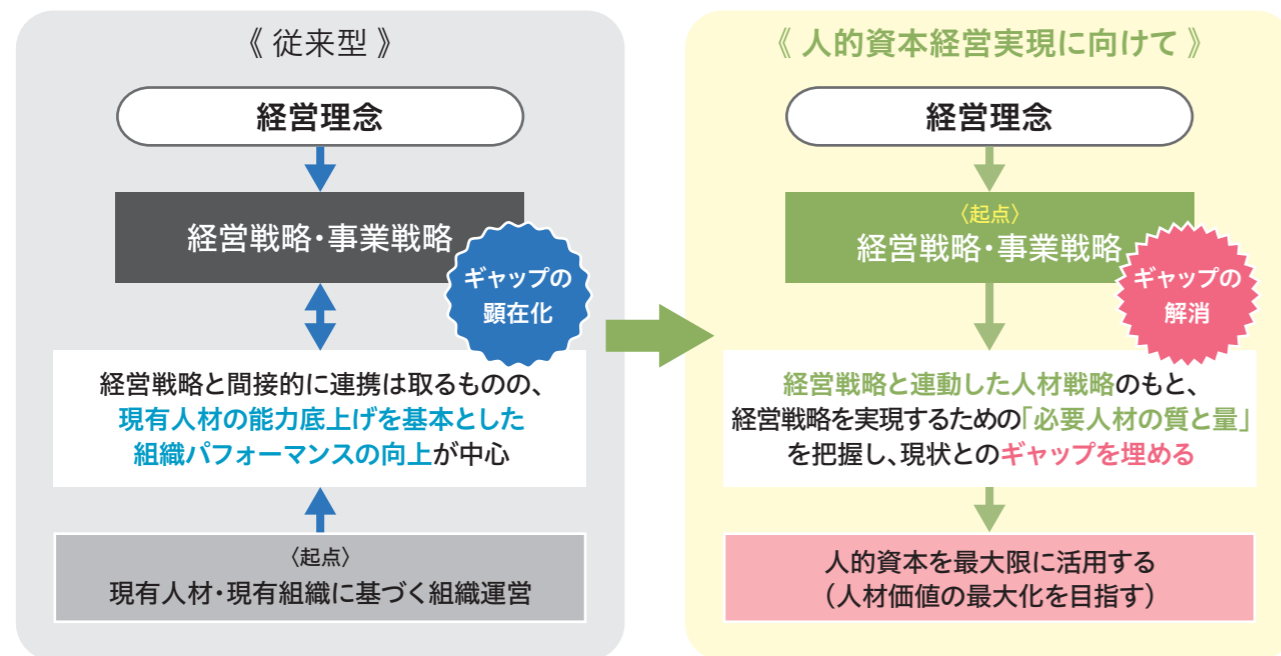
TOPICS 人的資本経営

人的資本経営の実現

人的資本経営の実現に向けた人材戦略の転換

当社は、人的資本経営の実現に向けて、これまでの現有人材・組織を起点とした組織運営の考えから脱却し、経営理念に基づく「経営戦略・事業戦略」を起点とし、それと連動した人材戦略のも

と、経営戦略実現のための「必要人材の質と量」を把握し、現状とのギャップを埋めていく、すなわち「人材価値の最大化」を目指すという発想への転換を図ってまいります。



新明和工業における人的資本経営実現上の課題／ポイント

01 経営戦略の実現に必要な人材の質と量を洗い出すとともに、多様な手段でその充足を図る。

「経営戦略」と「人材戦略」の連動

その中でも、経営戦略上特に重要なDX戦略について、「DX戦略基本方針」に基づき、DX人材の確保・育成目標を設定し、運営する。

02 会社の成長には、個の多様性が不可欠と認識し、多様性が最大限に活かされるよう、「インクルージョン」を重要課題と認識してD&I施策を実行する。

「従業員エンゲージメント」の向上

01、02を実現するため、

1. 人的資本投資の概念の明確化と計画的投資の実施
2. DX人材ポートフォリオ・マネジメントの実施
3. 事業戦略と連動したキャリア開発(リスクリング)の実施
4. 風通しの良い職場風土・上司と部下の価値観共有文化の形成

を大きな柱として具体的な人材戦略を実践していく。

人的資本経営実現に向けた課題への取り組みおよび指標と目標

人的資本経営の実現に向けた方向性を踏まえ、経営戦略と人材戦略の連動を実現するための重点施策として、

- ・人的資本投資の概念の整理および計画的投資の実施
- ・DX人材ポートフォリオ・マネジメントの実施および事業戦略と連動したキャリア開発(リスクリング)の実施
- ・風通しの良い職場風土・上司と部下の価値観共有文化の形成

を定め、KPIおよび目標値に基づき、確実に人材戦略を実践し、経営戦略の実行を支えてまいります。

(a) 人的資本投資額

2023年度における人的資本投資額は右のとおりです。2024年度以降についても、2022年度の1人当たりの人的資本投資額をベースに拡大を図ります。

取り組み方位	2023年度実績(1人当たり実績)
人材育成	197千円
社内環境整備	134千円
合計	331千円

(b) DX人材ポートフォリオ

DX人材の定義

当社におけるDX人材とは、「2022年12月に経済産業省が公開した『DX推進スキル標準』に基づいた5つの人材類型のケイパビリティのいずれかを有する人材」と定義しています。また、2002年に経済産業省が公表した「ITスキル標準」の「レベル定義」のうち、「レベル4」^(※1)および「レベル3」^(※2)を満たす人材を、上記記載の「ケイパビリティを有する人材」とします。

(※1) 専門スキルを駆使し、課題発見と解決をリードできるレベル
(※2) 要求された作業を全て独力で遂行できるレベル

DX人材ポートフォリオのKPIと目標値

5つの人材類型のうち、優先的に推進すべき「ビジネスアーキテクト」および「データサイエンティスト」の類型に焦点を合わせたケイパビリティの強化(重点)と、5つの人材類型全ケイパビリティの総合的強化(全方位)とにKPIを分けて、2022年度の社内対象人員を100とした場合の目標値を設定しました。

	KPI	2022年度	2026年度	2030年度
DX人材のケイパビリティ	重点	100%	180%	240%
	全方位	100%	150%	200%

(c) エンゲージメントサーベイスコア

エンゲージメントサーベイスコアの設定

2022年7月実施のD&Iサーベイ項目から「エンゲージメント向上」に直結する項目および同項目と相関関係がある10項目を選定し、各サーベイ質問項目ごとの回答^(※3)について、「最良な状況の回答の割合」を「ベスト回答(ポイント)」とし、「肯定的な回答の割合」を「ポジティブ回答(ポイント)」として、それぞれの回答の割合の平均値をエンゲージメントサーベイスコアとして設定いたしました。

(※3) 4つの選択肢から現状に該当する内容を選出する方式

エンゲージメントサーベイスコアのKPIと目標値

KPI	2022年度	2026年度	2030年度 (長期ビジョン最終年度)
ベスト回答	11ポイント	15ポイント	20ポイント
ポジティブ回答	61ポイント	70ポイント	80ポイント

(d) チャレンジスコア

チャレンジスコアの設定

2024年2月に「新たな価値を生み出す従業員の意識醸成」創出のため、2022年7月実施のD&Iサーベイ項目から「従業員のチャレンジ意欲」に直結する項目および同項目と相関関係がある6項目を選定し、各サーベイ質問項目ごとの回答について、「最高得点の回答の割合」を「ベスト回答(ポイント)」とし、「肯定的な回答の割合」を「ポジティブ回答(ポイント)」として、それぞれの回答の割合の平均値をチャレンジスコアとして設定いたしました。

チャレンジスコアのKPIと目標値

KPI	2023年度	2026年度	2030年度 (長期ビジョン最終年度)
ベスト回答	18ポイント	20ポイント	25ポイント
ポジティブ回答	67ポイント	75ポイント	85ポイント